

# 第38期 中間事業報告書

( 平成14年4月1日から  
平成14年9月30日まで )

## 株主メモ

決 算 期	3月31日
定 時 株 主 総 会	6月
配 当 金 受 領 日	3月31日
株 主 確 定 日	中間配当を実施するときは9月30日
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目5番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目5番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
( 郵便物送付先 ) 電話お問合わせ先	( 〒135 - 8722 ) 東京都江東区佐賀一丁目17番7号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 ( 0570 ) - 000324 ( 専用ダイヤル ) 電話 ( 03 ) 3642 - 4004 ( 代 表 )
同 取 次 所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほアセット信託銀行株式会社 本店および全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店
公 告 掲 載 新 聞	日本経済新聞

 遠州トラック株式会社

## 株主の皆様へ



株主の皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに当社第38期上半期の営業の概況と中間決算について、ご報告申し上げます。

当上半期における我が国経済は、依然として金融システムに対する不安、株価低迷、および個人消費動向も回復する兆しも見られず不況から脱し切れない状況下にあります。

また、中国をはじめ東南アジア地域からの激しい追い上げで国際競争力の低下に直面しております。

当業界においても輸送量の減少、単価の下落、新物流システム（クロスドッキング）により長期低迷傾向をたどっております。また、諸々の環境問題にからむ社会規制の強化により陸上輸送業者にとって今後も厳しい状況が予想されます。

こうした中、当社では従来の工業物流に加え、新たに本年4月より流通を手掛け、営業の幅を広げると同時に社内の合理化、効率の追求に努め、現在の物流業界を取り巻く厳しい環境下でも充分耐えうる体質づくりをしております。

この結果、当上半期における営業収益は61億99百万円（前年同期比7.4%増）となり、営業利益は4億77百万円

（前年同期比30.3%増）となりました。経常利益は4億45百万円（前年同期比41.7%増）と増収増益となりました。中間利益は投資有価証券の評価損を特別損失に計上した結果、2億18百万円（前年同期比34.9%増）となりました。

部門別の営業収益では、輸送部門は当社で推進するスルー物流（ノンストック輸送）の積極的営業活動により新規拡販、既存荷主のシェアアップ、不採算車輛の見直しにより、自社輸送・取扱部門ともに改善され41億82百万円（前年同期比6.6%増）となりました。

倉庫部門は、新たに流通の業務を取り込み、また既設倉庫の充填率向上、改善を図り18億12百万円（前年同期比4.1%増）となりました。

不動産部門は、袋井エコポリスの新駅「愛野」の至近な位置に分譲開発した「愛野シャンパーク」が好調で2億4百万円（前年同期比92.2%増）となりました。

また地域別では、関東事業部で貨物取扱量、在庫残高が安定しているものの、浜松事業部で大口荷主の倉庫解約、在庫の圧縮により低調が続いております。

上半期での主な設備投資額は、環境問題への対応で車輛の更新程度にとどめ財務体質強化を図ってまいります。

今後、当社が取り組むべき課題は、一層の効率化を追求し、健全な経営を目指していくことと、静岡県内を全面展開していく上で東部拠点進出は不可欠な条件であり、現在情報を収集しているところであります。

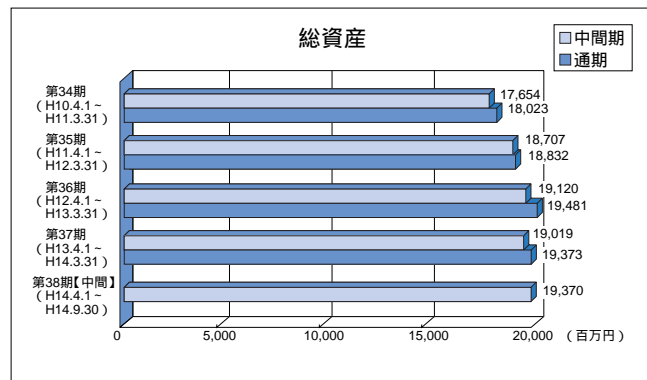
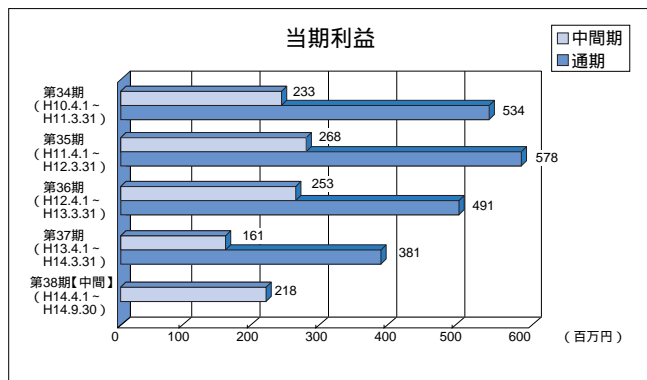
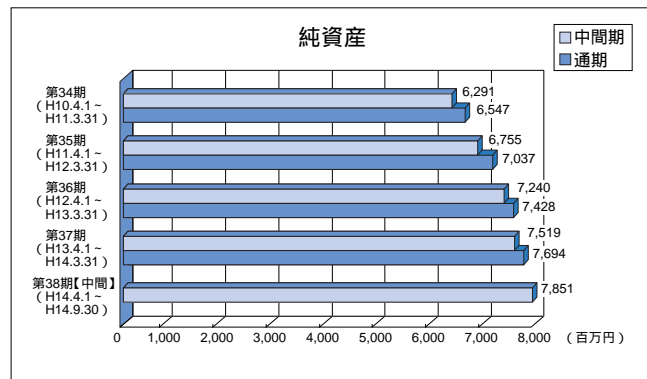
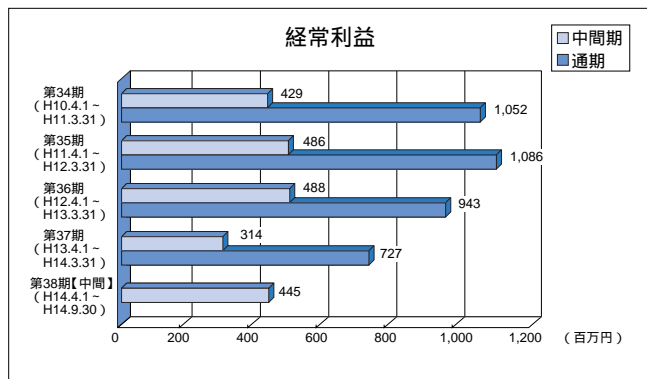
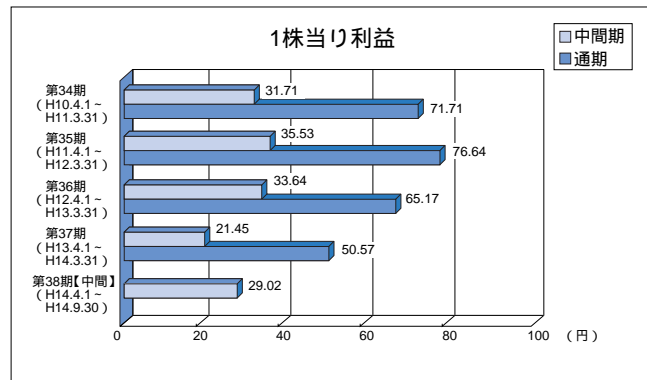
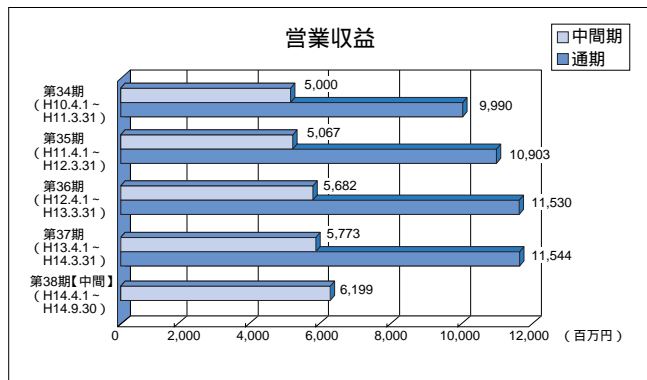
従来、工業物流に係る輸送、倉庫、物流加工に流通も加え、営業の幅を広げ常に荷主の物流ニーズに応える体制を整え、変革する物流時代に立ち向かってまいります。

何卒、株主の皆様におかれましては倍旧のご指導とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成14年12月

代表取締役社長 澤田邦彦

# 業績の推移



# 貸借対照表

(単位：千円)

科目	期別		
	前中間期 (平成13年9月30日現在)	当中間期 (平成14年9月30日現在)	前期 (平成14年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>			
流動資産	3,181,759	3,504,278	3,629,885
現金及び預金	470,204	503,265	622,401
受取手形	141,982	218,740	193,076
営業未収金	1,511,105	1,683,449	1,715,841
販売用不動産	384,332	336,497	406,466
その他のたな卸資産	429,539	502,324	483,018
前払費用	160,145	134,487	124,274
繰延税金資産	32,601	45,692	29,386
その他	55,842	82,651	59,411
貸倒引当金	3,994	2,831	3,992
固定資産	15,830,739	15,863,818	15,739,046
有形固定資産	14,499,624	14,504,910	14,469,161
建物	5,231,880	5,031,299	5,137,787
構築物	315,347	285,160	295,958
車輛運搬具	217,235	304,962	262,316
土地	8,686,870	8,843,329	8,731,851
建設仮勘定	5,598		1,859
その他	42,691	40,158	39,386
無形固定資産	253,907	261,150	245,362
投資等	1,077,207	1,097,757	1,024,522
投資有価証券	279,239	343,225	287,949
子会社株式	46,200	109,700	89,700
繰延税金資産	34,719	19,284	35,594
その他	717,054	626,450	611,786
貸倒引当金	6	903	508
繰延資産	7,122	2,372	4,747
資産合計	19,019,621	19,370,468	19,373,679

(注)

- (1) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。
- (2) 有形固定資産の減価償却累計額 5,009,291千円
- (3) 担保に供している資産 10,366,857千円
- (4) 受取手形割引高 396,923千円
- (5) 1株当り中間利益 29円02銭
- (6) 自己株式65千株を保有しております。
- (7) 商法施行規則(平成14年法務省令第22条)の施行により、当中間期から資本の部の表示方法を変更しております。なお、前中間期および前期についても変更後の表示区分に組替えております。

(単位：千円)

科目	期別		
	前中間期 (平成13年9月30日現在)	当中間期 (平成14年9月30日現在)	前期 (平成14年3月31日現在)
<b>(負債の部)</b>			
流動負債	5,128,336	6,723,969	6,422,115
支払手形	225,668	230,344	289,287
営業未払金	780,384	812,421	840,365
短期借入金	1,848,000	3,100,000	2,700,000
1年内返済長期借入金	1,715,790	1,964,026	2,082,376
未払法人税等	139,878	236,682	104,414
未払消費税等	61,113	59,135	76,480
賞与引当金	73,000	74,500	73,000
設備支払手形	86,183	53,570	43,033
その他	198,317	193,289	213,158
固定負債	6,372,255	4,794,625	5,257,510
社債	500,000	500,000	500,000
長期借入金	5,668,600	4,038,456	4,498,094
退職給付引当金	86,709	89,444	91,114
その他	116,946	166,724	168,301
負債合計	11,500,592	11,518,594	11,679,626
<b>(資本の部)</b>			
資本金	1,284,300	1,284,300	1,284,300
資本剰余金	1,070,810	1,070,810	1,070,810
資本準備金	1,070,810	1,070,810	1,070,810
利益剰余金	5,170,414	5,501,452	5,341,117
利益準備金	90,818	90,818	90,818
任意積立金	4,748,954	4,998,954	4,748,954
中間(当期)未処分利益	330,640	411,679	501,343
(中間(当期)利益)	(161,861)	(218,375)	(381,611)
評価差額金	6,318	30,645	1,402
自己株式	176	35,333	771
資本合計	7,519,029	7,851,874	7,694,052
負債及び資本合計	19,019,621	19,370,468	19,373,679

# 損益計算書

(単位：千円)

科 目	期 別	前中間期	当中間期	前 期	
		自平成13年4月1日 至平成13年9月30日	自平成14年4月1日 至平成14年9月30日	自平成13年4月1日 至平成14年3月31日	
経常損益の部	営業損益の部	営業収益	5,773,460	6,199,603	11,544,854
		営業費用	5,406,825	5,721,838	10,774,675
		営業原価	5,161,149	5,521,169	10,345,291
		販売費及び一般管理費	245,676	200,668	429,384
		営業利益	366,635	477,764	770,178
	営業外損益の部	営業外収益	18,662	32,659	91,484
		受取利息・配当金	4,048	6,554	8,565
		受取保険配当金	5,345	6,588	63,135
		その他の営業外収益	9,268	19,516	19,783
		営業外費用	70,614	64,490	134,068
		支払利息	53,989	43,897	101,757
		その他の営業外費用	16,624	20,592	32,311
		経常利益	314,683	445,932	727,594
		特別損益の部	特別利益	11,596	1,246
固定資産売却益			81		
投資有価証券売却益	9,596			9,596	
貸倒引当金戻入	2,000		1,165	2,000	
特別損失	15,141		13,873	26,969	
固定資産除却及び売却損	1,973		2,314	4,389	
会員権評価損			400	700	
投資有価証券評価損	13,168	11,158	21,879		
税引前中間(当期)利益	311,137	433,306	712,221		
法人税、住民税及び事業税	143,415	237,197	325,825		
法人税等調整額	5,861	22,266	4,784		
中間(当期)利益	161,861	218,375	381,611		
前期繰越利益	168,779	193,303	168,779		
中間配当額			49,047		
中間(当期)未処分利益	330,640	411,679	501,343		

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

# 会社の概要

## 株式の状況(平成14年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数	17,600,000株
発行済株式の総数	7,546,000株
株主総数	838名

## 大株主(平成14年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
有限会社スリーナイン	1,900	25.70
豊田順介	1,500	20.29
豊田慶造	332	4.49
豊田弘子	249	3.36
遠州トラック従業員持株会	218	2.94
株式会社袋井倉庫	198	2.67
澤田邦彦	188	2.54
商工組合中央金庫	169	2.28
豊田重雄	155	2.09
株式会社三井住友銀行	121	1.63

## 従業員の状況(平成14年9月30日現在)

従業員数	520名
------	------

## 役員の状況(平成14年12月1日現在)

取締役会長	豊田順介
取締役社長	澤田邦彦
専務取締役	神谷修義
常務取締役	寺田佳史
取締役	木下昭二
取締役	寺田正彦
取締役	池谷功雄
取締役	豊田重雄
取締役	落合良岐
取締役	筒井昭勇
常勤監査役	尾崎勇夫
監査役	上原貞夫
監査役	久保田義一

## 中国拠点の充実化推進

### 上海物流センター建設

当社では平成6年2月に上海へ進出し、中国へ生産移管を推進する日本企業への提案活動により、中国5拠点で日本式物流を展開してまいりました。

また、インフラの整備につきましては中国最大手物流会社である上海交運（集団）会社と合併することでサポート体制も万全となりました。

日中一貫物流の集大成としてすでに浜松 I.C に隣接した倉庫を完成させております。今回、物流倉庫の建設ノウハウと IT テクノロジーを駆使したセンターを自社倉庫として上海に建設する運びとなり、日本とはリアルに情報交換が出来る受発注機能を持った物流センターが稼働し、荷主のニーズに合わせた一貫物流を構築することが出来るようになりました。



## 24時間対応の調達物流構築

当社情報システムを駆使し、大手メーカーの資材、原材料の調達物流をスタートさせました。これは、従来の調達物流にインターネットで荷主の経理部門と供給メーカーとをシステムで連動させ24時間体制で稼働させております。これにより効率と確実性、コストメリットを打ち出すことの出来た画期的なシステムであります。



## 株主優待制度

毎年3月31日現在の株主および実質株主名簿に記載された1,000株以上ご所有の株主の皆様に対し、静岡県袋井市において毎年8月中旬に開催される『ふくろい遠州の花火』の指定席入場券または、郷土の産品『クラウンマスクメロン』を贈呈いたします。

ご所有株式数に応じて下記の中よりご希望の品1点をお選びください。

ご所有株式数	選択区分	ご優待品	数量
1,000株 ~ 1,999株	-	郷土の産品『クラウンマスクメロン』	2個
2,000株 ~ 4,999株		『ふくろい遠州の花火』指定席入場券	2枚
		郷土の産品『クラウンマスクメロン』	3個
5,000株以上		『ふくろい遠州の花火』指定席入場券	4枚
		郷土の産品『クラウンマスクメロン』	4個

毎年6月下旬頃に株主様のご希望をおたずねします。

『ふくろい遠州の花火』指定席入場券は8月初旬までにご送付いたします。（開催当日に限り有効）

郷土の産品『クラウンマスクメロン』は、順次現品をご送付いたします。